

職 場 集 会 報 告

2019年3月25日27日、千葉地本会議室及び蘇我運輸区講習室に於いて、「職場集会」を開催しました。議題として、①19春闘妥結について。②社員代表選挙について。③最近の事象について。

④本人希望を尊重しない転勤について。の4点をメインに組合員と議論しました。

今後も安全を大前提に、働きがいのある風通しのよい職場を創り出していきますので、工作上・プライベート問わず悩みや疑問、意見要望等分会役員までお知らせください。

■最近の事象について組合員の声

①「停車駅通過の事象」について

- ・E233系の保安装置画面を運転士または車掌画面にして、**停車・通過ボイスをダブル**にすることと**自動放送音量を入れる**ことで事故予防している
- ・全ての担当列車で**基本「停車」という意識**で運転している。
- ・停・通音声や自動放送に**頼ってしまうと間違えの元**なので、音量は逆に小さくしている。
- ・各駅・快速・両数の**パウチを視界に入る位置に掲出**している。
- ・自分もいろいろな事象の経験があるが、**そもそもカードを確認**することが事故防止になる。また、**運転中に他の事を考えない**で運転に集中することも防止につながる。
- ・停・通確認は、モニターでも可能となっているが、モニターのみの確認では3駅しか確認することができないが、**M電カードで確認**することで、**先の停車駅や時分も確認**できるので、事故防止につながるのではないか。
- ・以前はモニターのある車両は少なかった。その時はM電カードのみで停・通確認をしており、事象も少なかったと思うので、**原点に戻り基本はM電カードで確認**することが重要だと思う。
- ・**安全について、詰所などでも話し合えるような風土が必要**ではないか。**お互いの次の列車の発車時間や気を付ける点などを言い合う**ことも予防になる。
- ・私物の携帯電話の取扱いも、**社員同士お互いに気に掛け電源切ったか確認**しあうべき。

②「トイレ使用での出場遅延」について

- ・トイレに行きたい旨の連絡が来た場合は、**受けた側から一言「指令に言っとくよ！」**と**言うこと**で防止できるのではないか。
- ・そもそも**基本は自分でトイレ使用の旨を言うべき**だ。
- ・トイレ使用をすると、指令日誌に「その他取扱い誤り」で載るので気にしてしまう。
- ・緩行線では、**トイレ使用で列車を止めることは風土化**されているようなので、そのような風土を創るべきではないか。**我慢することは不安全**。
- ・腹痛が切羽詰まっているときなどは指令に言う余裕も無い場合もあるので、**受けた側から一言「指令に言っとくよ」というのも必要**。指令に言うのが恥ずかしいということもあるので、その際には**業務用携帯電話で指令に言う手段**もある。
- ・そもそも、**トイレ使用する旨を事前に指令に言うことを知らない乗務員もいる**ので再周知も必要ではないか。
- ・基本は自分で指令に言うことが必要だが、切羽詰まっているときなどは、一言「トイレ行く旨と指令への連絡の依頼」をすることが必要はないか。

職場から安全議論を行い、事故を予防しよう!!